

【研究費区分】：若手研究者独立基盤形成支援枠

【所属】：法学部

【氏名】：佐藤 信

【氏名フリガナ】：サトウ シン

【職】：准教授

【研究課題名】：「55年体制」の“体制”性の史的解明

【研究実績の概要】

本研究課題は「55年体制」とは何だったのか、とりわけその“体制”性を解明することを目的とする。本傾斜的研究費では、科研費（若手研究者独立基盤支援）と併せて、戦後日本政治社会の研究に不可欠な巨大なデジタルデータベース（三木武夫関係文書）を整備し、東京都立大学に史的アプローチによる戦後日本政治社会研究の国際的拠点を構築するための基盤の構築を行なった。

【本支援を用いた研究基盤整備の達成状況について】

当初計画通りデジタル版三木武夫関係文書を導入し、これを東京都立大学全学からアクセス可能なように整備した。これにより東京都立大学の全ての学生・教職員がこの基本資料にアクセスすることが可能となり、本研究課題の遂行のみならず部局を越えて戦後日本政治社会に関する研究教育の飛躍的向上が期待される。

【本支援を用いた具体的な研究グループの形成について】

以上の研究基盤を前提として、近現代日本の政治外交史を専攻する国内外の若手研究者をオンライン上でつなぐ「日本政治外交史ネットワーク」を立ち上げ、2021年4月以降、毎月のミーティング開催を予定している。これは日本研究の国際化に寄与するのみならず、日本での調査が困難な海外の日本研究者や東京での調査が困難な地方の研究者への情報提供などを通じて濃密なグローバルネットワークを構築することで、日本研究の持続的な発展を下支えすることを狙うもので、今後の継続的なコミットメントによって東京都立大学がそのハブの一つになることが期待される。